

岨山の入山規制について

芦別市の南部に位置する岨山(標高1,066m)は、夕張山脈主峰群に位置し、岨山一帯は南北約2kmにわたる石灰岩の岩峰群が奇岩状に露頭を成しています。

また、岨山にはキリギシソウやホテイツモリソウなど植物学的にも貴重な高山植物が多種にわたって生息している場所でもあります。

しかし、岨山への入り込み者の増加に伴い、石灰岩の岩壁とその直下の崩壊地は土壌が未熟であり、またオーバーユースによる踏みつけと予想以上の盗掘など、このままでは貴重な高山植物が絶滅の危機にありました。

そこで、地元芦別市に「岨山自然保護協議会」が平成11年1月に設立され、同協議会からの入林制限の協力要請を総合的に勘案し、同年4月より、当面の措置として5年間の入山制限を実施、結果、高山植物の回復傾向が見られるため、平成16年度以降も継続して入山制限を実施してきているところであります。

現在、岨山への入山は研究・調査以外では、芦別市が毎年6月頃に実施しているモニター登山のみであります。(詳細は芦別市役所にお尋ね下さい)

以上の状況でありますので、今後も、岨山の入山規制にご理解をお願いします。



北海道森林管理局 空知森林管理署